

災害廃棄物受入処理事業について（岩手県陸前高田市・釜石市分）

Q1 なぜ、岩手県陸前高田市、釜石市の災害廃棄物を都内で受入処理するのですか。

岩手県陸前高田市の災害廃棄物処理必要量は、98万7千トンで岩手県内最大となっています。また、岩手県釜石市の災害廃棄物処理必要量は、56万トンと県内でも3番目に多く、処理の進捗率も26.3%と、岩手県全体の進捗率（31.4%）と比べても伸び悩んでいる状況です。（平成24年11月30日現在）

両市の災害廃棄物は、県内だけでは処理能力が不足し、広域支援先も未定となっており、処理の見通しが立っていない状況であったため、岩手県から災害廃棄物の処理要請を受けました。

Q2 岩手県陸前高田市、釜石市の災害廃棄物の放射能はどれくらいですか。

両市の放射能測定結果は以下のとおりです。

市名	放射性物質濃度		
	災害廃棄物	焼却灰	焼却時の排ガス
陸前高田市	68Bq/kg	450Bq/kg	不検出
釜石市	101～148Bq/kg	540Bq/kg	不検出
(参考)23区清掃工場 (24年12月測定分)		219～2,275 Bq/kg	全て不検出

※ 焼却灰の埋立基準は8000Bq/kg以下

※ 詳細は[プレス資料](#)を参照

Q3 岩手県陸前高田市、釜石市の災害廃棄物（混合廃棄物）は、都内のどこで処理するのですか。

建設解体廃棄物などの混合廃棄物を処理する能力を有している産業廃棄物処分業者が処理します。

<陸前高田市>

- 平成25年4月～平成25年6月分の処理フローは[こちら](#)をご覧ください。
- 平成25年7月～平成25年9月分の処理フローは[こちら](#)をご覧ください。
- 平成25年10月～平成26年1月分の処理フローは[こちら](#)をご覧ください。

<釜石市>

- 平成25年4月～平成25年6月分の処理フローは[こちら](#)をご覧ください。
- 平成25年7月～平成25年9月分の処理フローは[こちら](#)をご覧ください。
- 平成25年10月～平成25年12月分の処理フローは[こちら](#)をご覧ください。

Q4 なぜ、搬出期間は平成25年12月末までなのですか

災害廃棄物を選別している場所は民有地を使用しており、平成26年3月末までに返還する必要があります。

そのため、選別施設等の解体撤去をする期間を見込んで、平成25年12月末までに災害廃棄物の処理を完了する予定です。

Q5 なぜ、岩手県陸前高田市の災害廃棄物を石巻港駅も利用して輸送するのですか

岩手県陸前高田市は宮城県との県境に位置しており、最寄りの鉄道貨物駅は宮城県石巻市にある石巻港駅です。

そこで、できる限り石巻港駅を利用して、効率的かつ経済的な輸送を行います。